

Julabo Case Study

JULABO FP50-HL

10L反応器を
+20°Cから+120°Cまで加熱



目的

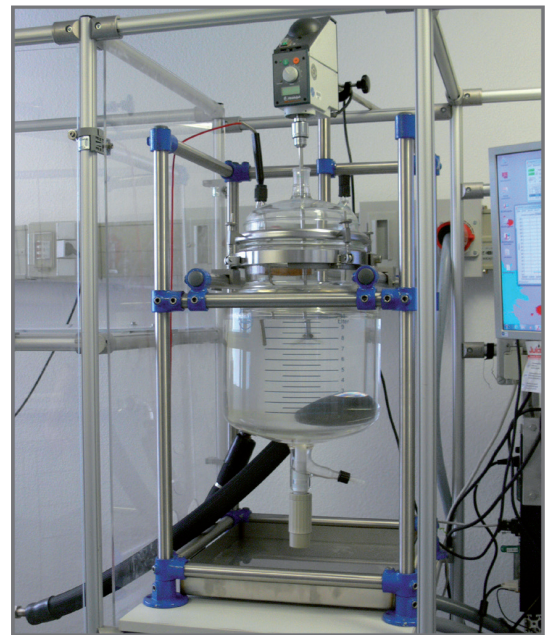
本ケーススタディは、ユラボFP50-HLと10Lのガラス反応器を接続し加熱試験を行いました。
FP50-HLには2mのメタルホースを接続します。
FP50-HLは+20°Cから+120°Cに加熱するプログラムで運転を行います。

テスト条件

ユラボ装置	FP50-HL
冷却能力	+20°C 0.9kW 0°C 0.8kW -20°C 0.5kW
加熱能力	2kW
バンドリミット	無
吐出圧	0.4bar
循環液	ユラボサーマルH10
反応器	10Lガラス反応器(Normag) 10LのサーマルH10を充填
ジャケット容量	5L
温度制御	外部温度制御 (ICC)

環境

室温	+20°C
湿度	45%
電源	230V/50Hz



テスト結果

次ページグラフ参照: FP50-HLの加熱過程はオーバーシュートなしで、+20から+120°Cまで2時間で完了した。

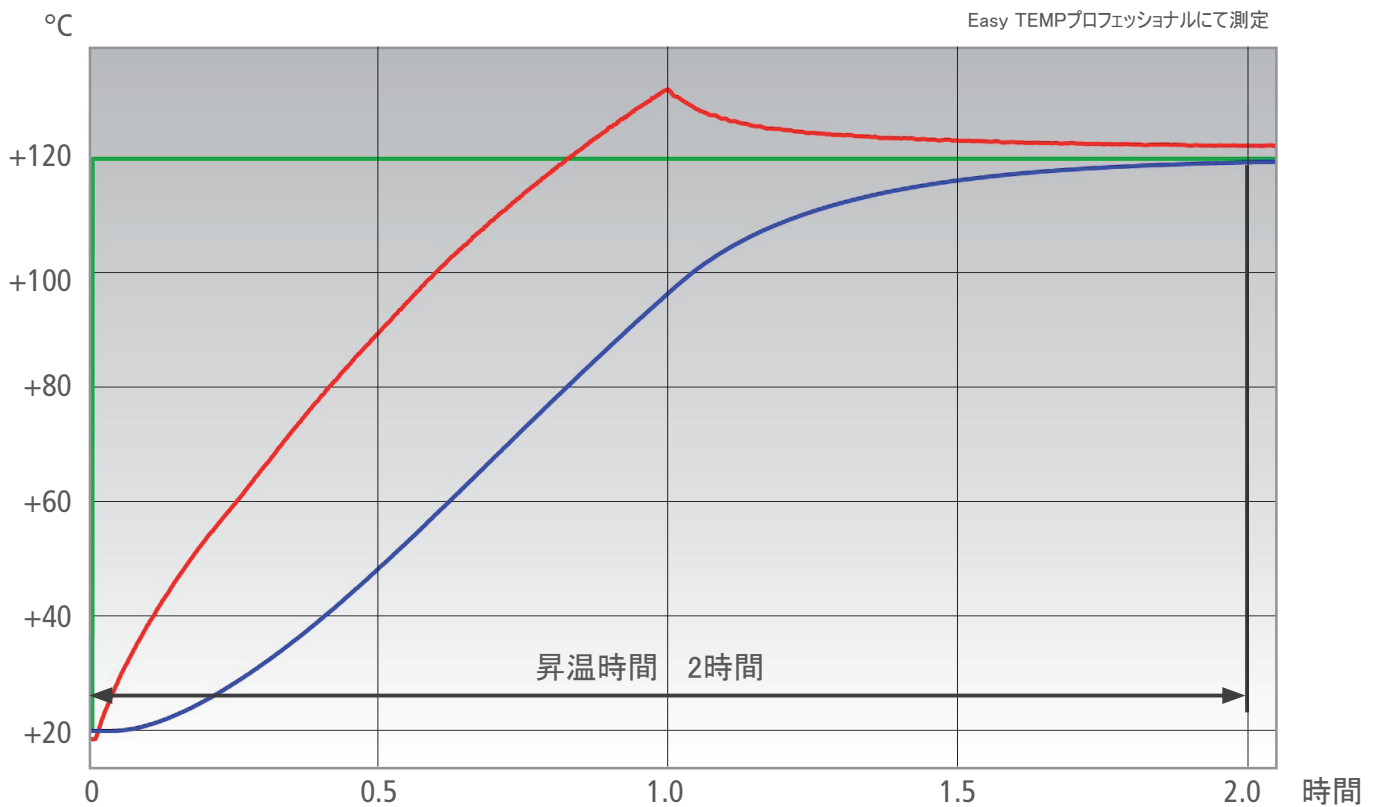
特徴

PTFEコーティングされたPt100温度センサーが使用可能です。

次のページにも情報が載っています。



JULABO GmbH
Eisenbahnstraße 45
77960 Seelbach / Germany
Tel. +49 (0) 7823 51-0

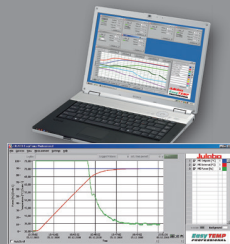


- 設定温度
- 反応器内温度
- ジャケット温度

特徴

無償のEasyTEMP
ソフトを使用すれば
PCから装置を
制御できます。
また温度グラフも
表示できます。

EasyTEMP



JULABO GmbH
Eisenbahnstraße 45
77960 Seelbach / Germany
Tel. +49 (0) 7823 51-0